



ea エコアクション21

# 環境活動レポート



活動期間:2018年5月～2019年4月



発行日:2019年6月1日

福山エビス印刷株式会社

認証番号：0006547

認証登録日：2011年 1月28日

更新登録日：2019年 1月28日

有効期限：2021年 1月27日

# 目次

1. 事業活動の概要	1
2. 実施体制 (環境経営システム組織図)	2
3. 環境方針 (経営理念・社是・EA21：基本理念・基本方針)	3
4. 環境目標と実績 (二酸化炭素排出量・総排水量・廃棄物排出量)	4
5. 主要な環境活動・取組内容	5-9
1. 二酸化炭素排出量の削減	
2. 総排水量の削減	
3. 廃棄物排出量の削減	
4. 化学物質使用での運用管理	
5. 環境関連法規の順守	
6. 環境教育の推進	
7. 外部研修	
8. 推進メンバー定期ミーティング	
6. 評価・次年度の取組内容	10-11
7. 今後の目標	12
8. 環境関連法規制遵守状況	12
9. 代表者による全体の評価と見直し結果	13

# 1. 事業活動の概要

## ■ 事業所名

福山エビス印刷株式会社

## ■ 代表者名

代表取締役 社長 小田芳正

## ■ 所在地

### 【本社】

〒720-0821 広島県福山市東川口町1丁目5番5号  
TEL 084-954-2200 FAX 084-954-2643

### 【オフ輪工場】

〒720-0821 広島県福山市東川口町1丁目4番12号  
TEL 084-920-2120 FAX 084-920-2118

### 【大阪営業所】

〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4-4-15-601  
TEL 06-6152-9480 FAX 06-6152-9481

## ■ 管理責任者及び連絡先

環境管理責任者：浜田耕作

連絡・受付担当者：立石法子

連絡先：TEL 084-954-2200 FAX 084-954-2643

## ■ 事業内容及び認証登録範囲

対象事業所：本社・オフ輪工場・大阪営業所

事業活動：オフセット印刷の営業・企画・デザイン・製版・印刷・  
加工包装及び出荷業務・太陽光発電事業

## ■ 事業規模

資本金：1,000万円

売上高：724百万円(印刷物売上高)

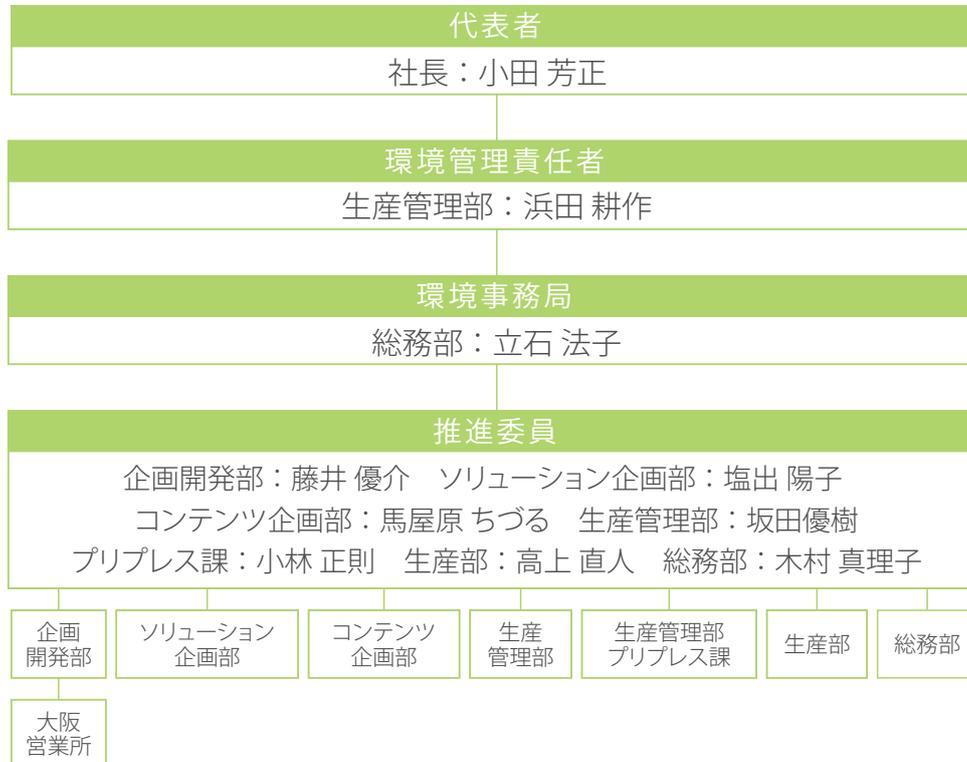
従業員数：41人

延床面積：本社 1,604㎡

オフ輪工場 3,054㎡

## 2. 実施体制

### 福山エビス印刷株式会社 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境経営に関する統括責任</li> <li>■ 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能、技術者を用意</li> <li>■ 環境管理責任者を任命</li> <li>■ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>■ 環境目標・活動計画書を承認</li> <li>■ 代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>■ 環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>■ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>■ 環境目標・活動計画書を確認</li> <li>■ 環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>■ 環境活動レポートの承認確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進委員会の事務局</li> <li>■ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>■ 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成</li> <li>■ 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施</li> <li>■ 環境目標・環境活動計画書原案の作成</li> <li>■ 環境活動の実施集計</li> <li>■ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>■ 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
推進委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自部門における環境経営システムの実施</li> <li>■ 自部門における環境方針に周知</li> <li>■ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>■ 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>■ 特定された項目の手順書作成及び運営管理</li> <li>■ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録</li> <li>■ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>■ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 3. 経営理念・社是・環境方針

### 福山エビス印刷株式会社

#### 〈経営理念〉

私たちは、常に優れた感性を磨き、感動を呼び、感謝される印刷文化の向上を目指します。それによって  
お客様と会社の繁栄、社員の幸福をもたらす  
企業永遠の発展を図って、社会への責務を果たします。

#### 〈社 是〉

創造・実行・信頼

### 環境方針(エコアクション21)

#### 〈基本理念〉

福山エビス印刷株式会社は、地球環境に対する影響を最小限に抑える為、  
環境汚染・健康と安全の維持を重要課題とし、これを継続的に取り組み次  
世代に住み良い地球と豊かな社会を残すことを目指します。

#### 〈基本方針〉

1. 環境への配慮した経営活動を推進することにより、作品・サービスへの社会的価値とグリーン購入により一層の社会的貢献に取り組みます。営業活動を通じて弊社もお客様へのエコを推進します。  
リサイクル対応型印刷物の制作の推進、分別廃棄の推進。
2. 生産活動において「棄てるものを少なくする」ことを原点にした行動について規定し、持続的な運用のため継続的な改善と維持活動を行い、資源及びエネルギーの削減・効率利用に努め、汚染の予防に取り組みます。
3. 環境負荷を軽減するために、次の活動を進めます。
  - ・二酸化炭素排出量の削減に努めます。
  - ・廃棄物排出量を削減し、分別することにより、リサイクルの推進「棄てる物を少なくします」
  - ・水資源の節約に努めます。
  - ・化学物質の取扱はSDSに従いより安全な使用と廃棄に努めていきます。
4. 環境に関わる法規制を順守し、お客様の要求事項を明確にし、管理を行います。
5. 基本理念に基づいたエコアクション21マネジメントシステムを確立し、そのサイクルをまわすことにより継続的改善を図ります。
6. この環境方針は全ての社員、従業員に周知徹底し、社員教育を実施します。また良いと気付いた時は即始め、悪いと気付いた時は即止めます。必要に応じて見直しを行い、環境保全型企業を目指します。
7. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

### 社会的信頼と業績をアップ!

あらたな視点が会社・社員の危機を救います。

2018年4月25日 改定  
代表取締役社長 小田芳正

## 4. 環境目標と実績

※前年生産量との比率にて二酸化炭素・電力使用量・水使用量の良否判定  
 ※生産量前年比率:今期15.8%UP判定基準

項目	50期		51期		目標	対前年比	良否	
	2017年5月 2018年4月	2018年5月 2019年4月						
生産量	195,067,278通し		225,925,531通し		UP	115.8↑	○	
二酸化炭素排出量	全社:二酸化炭素排出量		1,860,062kg-CO2		1,833,859kg-CO2	DOWN	1.4%↓	○
	本社:電力使用量		87,308kWh		72,542kWh	DOWN	17%↓	○
	オフ輪工場:電力使用量		2,021,592kWh		2,036,743kWh	DOWN	0.7%↑	○
	生産部(オフ輪):トラブル率		平均:2.7%		平均:3.4%	DOWN	0.7%↑	×
	生産部(オフ輪):稼働率		平均:66%		平均:71%	UP	5%↑	○
総排水量	本社:水使用量		333m <sup>3</sup>		286m <sup>3</sup>	DOWN	14%↓	○
	オフ輪工場:水使用量		502m <sup>3</sup>		424m <sup>3</sup>	DOWN	15%↓	○
廃棄物排出量	廃棄物削減 紙管分別 生産部(オフ輪)		【50期】 ●紙管廃棄量合計約29,397kg ●紙管リサイクル3種内訳 ・紙管(合計:約17,380kg) ・取付金具(合計:約1,790kg) ・白紙(合計:約10,227kg)		【51期】 ●紙管廃棄量合計:約34,047kg ●紙管リサイクル3種内訳 ・紙管(合計:約20,170kg) ・取付金具(合計:約1,775kg) ・白紙(合計:約12,102kg)		—	
	オフ輪:生管対目ヤレ紙達成率		平均:54.3%		平均:47.1%	UP	△7.2%	×
	ペケ版率 (自貢)	プリプレス	37枚		25枚	0枚	△12枚	×
		オフ輪	9枚		26枚	0枚	17枚	×
他部署		3枚		3枚	0枚	—	—	
太陽光発電	発電量	65,226kWh		59,538kWh	—	91.3%	—	

### ◆設備変更、更新

- ・2018年7月:CTP有処理版→無処理版(現像レス化)への移行
- ・2018年7月空調機(1台):新台入替え(動力源電力→ガスに変更新台入替え)
- ・2018年9月輪転機(1台):新台入替え(三菱NEO→小森35S)
- ・2018年10月パイピング用コンプレッサー:インバータ制御タイプ更新

### ◆平均=1ヶ月平均値・オフ輪2台当たりの平均値にて算出

### ◆紙管本数=算出期間の通し枚数÷平均14R(28,000通し)

- ・51期通し枚数(B2):225,925,531通し÷28,000=紙管使用量:8,068本
- ・紙管1本当たり平均重量:約4,220g
- ・紙管リサイクル分別重量:紙管=約2.5kg・取付金具1本に2個装着=220g(2個分)・白紙=約1.5kg

### ◆二酸化炭素実排出係数:中国電力:0.677(kg-CO2/kWh)(H29年度実績)

## 5. 主要な環境活動・取組内容

※2017年12月に4色機撤去の為、2018年1月～本社印刷課無し

### 1. 二酸化炭素排出量の削減(電力使用量・トラブル率・稼働率)

#### ■ 全社対象(総務部・企画開発部)

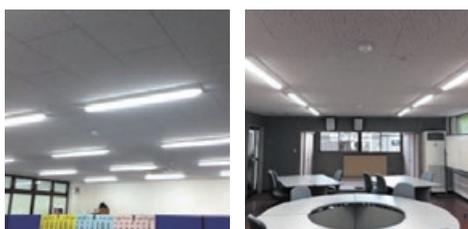
- ・全社対象での空調温度設定表示をする事での啓発を実施(夏場:26℃・冬場:20℃)ー①
- ・室内空気を循環させる為に扇風機(サーキュレータ)を活用。
- ・窓へ直射日光遮断用のパネルを貼る事で室内空調負荷の軽減。
- ・不必要箇所での照明消灯の実施。
- ・各部門にて定期的にエアコンフィルター清掃を実施。
- ・本社室外機洗浄を実施(7月)



①空調温度設定表示

#### ■ ソリューション・コンテンツ企画部

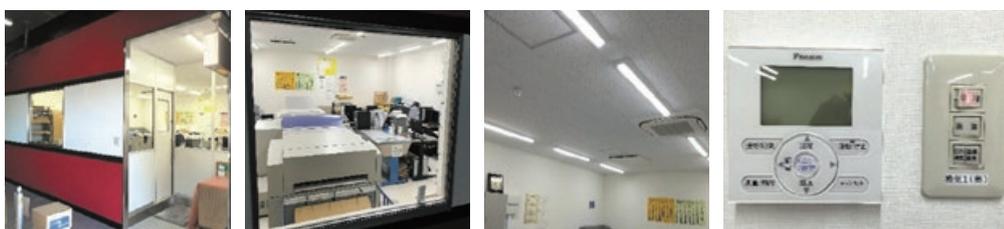
- ・2018年4月～1F工場一部を改装し部屋を2Fから1Fに移動。それに伴いLED照明へ変更ー②



②本社1F制作室:省エネ空調・LED照明の設置

#### ■ 生産管理部(プリプレス課)

- ・2018年4月～本社1F刷版室の設置により省エネ空調、換気、LED照明の導入ー③  
(換気については室内温度を維持しながらの稼働対応可:ロスナイ換気)
- ・2018年2月～トラック買換え、燃費も8.1km/lに対し12.2km/lへと向上ー④  
(DPR(高耐熱セラミックフィルター)フィルターの取付けにより排出ガス規制をクリア)



③本社1F刷版室:省エネ空調、換気、LED照明の設置



④新車トラックの購入

## ■生産部

- ・定期メンテナンスの徹底によりトラブル未然防止によるトラブル率の削減を図る。
- ・仕事量によるフレキシブル対応と空き時間の有効利用にて稼働率の向上を図る。
- ・2018年7月～設備更新にてオフ輪工場の空調機(1台)を省エネタイプに更新入替え。  
(動力エネルギーを電力→ガスに変更した事で一次エネルギー消費量、ランニングコストの低減が20～30%削減可)
- ・2018年10月～設備更新にてオフ輪工場パイピング用コンプレッサーを省エネタイプに入替え。  
(インバータ制御にて電力量30%削減可)
- ・2018年2月～省エネ照明器具交換(スーパーリライト/リフライト)ー⑤  
(年間300日使用として22,213kwh削減効果有り)
- ・デマンド管理の推進管理ー⑥



⑤オフ輪工場・倉庫照明/省エネLEDの設置



⑥デマンド管理



太陽光発電

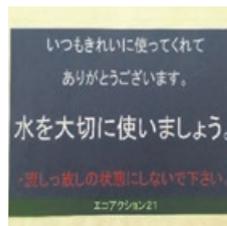
## 2.総排水量の削減(水使用量)

### ■全社対象(総務部・企画開発部・ソリューション・コンテンツ企画部・生産部)

- ・蛇口をレバー式に変更する事による流しっ放しの防止策の実施ー⑦
- ・節水表示をする事での啓発を実施ー⑧
- ・本社2Fトイレ掃除で使用する水流道具にてシャワーヘッドの取り付けにより水流調整、  
【ON/OFFが手元で出来るようになり水の流しっ放し防止改善】ー⑨



⑦蛇口レバー式に変更



⑧節水啓蒙表示



⑨掃除道具  
シャワーヘッドに変更

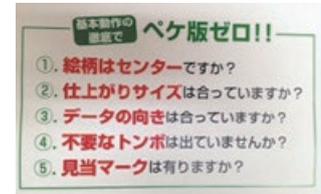
### ■生産管理部(プリプレス課)

- ・2018年8月に有処理版→無処理版(現像レス)への移行に伴い現像機が不要になった事で廃液削減  
る過装置と再生水再利用装置も撤去。廃液自体が無くなり環境に配慮した刷版工程が可能。

### 3.廃棄物排出量の削減(リサイクル化・ヤレ紙・ペケ版)

#### ■ 全社対象(リサイクル回収)(総務部)

- ・分別リサイクルの推進:ヤレ紙・ヤレ版・新聞紙・紙管・缶・瓶・ペットボトル・陶器・ガラス・段ボール
- ・コピー用紙裏白の再利用(社内用)
- ・資材使用后、再利用への有効利用化(梱包材・ワンプ等)
- ・段ボール再利用の推進
- ・自責ペケ版(目標設定値:0枚)ー⑩  
(生産部:2013年5月～オペレーターミスで発生した枚数のみでカウント変更)  
(プリプレス:2018年5月～オペレーターミスで発生した枚数のみでカウント変更)
- ・上質紙ヤレ、版合紙の再利用化  
(コピー用紙・製品当て紙・製品仕切り用・パレット下敷き用)



⑩自責ペケ版・出力ゼロ運動  
啓蒙表示

#### ■ ソリューション・コンテンツ企画部

- ・ミスコピー防止、出力ゼロ運動の為に張り紙を掲示と共に毎月でのカウント料金を公開しコスト意識を高める

#### ■ 生産管理部(プリプレス課)

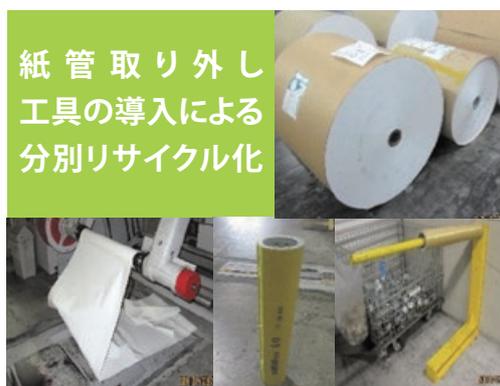
- ・ヤレ版でのプレートtoプレート(リサイクル化)への契約書締結ー⑪  
(富士フィルム:版の主原料であるアルミニウムを再利用化するシステム契約)



⑪プレートtoプレート

#### ■ 生産部

- ・紙管取り外し工具を設置する事で廃棄物からリサイクル化への取組み(支払→返金化)  
設置前・・・産業廃棄物として処分  
設置後・・・残紙・紙管・紙管金具の3種類に分別する事によるリサイクル化への実現。
- ・ヤレ紙率の削減(目標設定値:生産管理からの目標値より以下の達成率)



## 4.化学物質使用での運用管理(生産管理プリプレス課・生産部)

### ■生産管理部(プリプレス課)・生産部

- SDSに準じた取扱いと教育の実施  
(有機溶剤の性質・取扱い作業注意点・応急処置・漏出時対応表示の改訂と再教育の実施)
- 取扱い手順書に沿った使用管理ー⑫
- 緊急対応手順書の掲示ー⑬
- 特定産業廃棄物管理表示の実施ー⑬
- 有機溶剤管理改善の実施ー⑭  
(吸着ウエス一時保管容器、一時保管専用ドラム缶設置場所の変更・防毒マスクの導入)
- ジクロロメタン・ジクロロプロパン含有溶剤、特定有害産業廃棄物の排除



⑫取扱い手順書



⑬特定管理産業廃棄物表示



⑭一時保管容器

## 5.環境関連法規の順守(全社対象)

### ■全社対象

- 下水道法・騒音規制法・振動規制法・瀬戸内海環境保全特別措置法・浄化槽法・消防法
- 水質汚濁防止法・特定家庭用機器再商品化法・P R T R法・日印産連:グリーン基準ガイドライン
- 大気汚染防止法・水質汚濁防止法・フロン排出抑制法・ポリ塩化ビフェニル(P C B)特別措置法
- 危険物規制政令・廃棄物の処理及び清掃に関する法律

## 6.環境教育の推進

### ■全社対象

- ・全社環境整備(偶数月実施)ー⑮
- ・緊急避難訓練(1回/2年)  
実施は出来てないが生産部(本社・オフ輪印刷課) 緊急時対応マニュアル手順書の見直しを実施。
- ・緊急時での全社員への連絡方法としてLINE、メールにて2019年～運用開始。
- ・5S運動の推進(整理・整頓・清掃・清潔・躰)



⑮全社環境整備の様子

### ■生産管理部

- ・薬品、溶剤類取り扱いでの緊急対応訓練(年1回)
- ・使用資材のSDS(安全データシート)の取寄せ、保管、周知。

## 7.外部研修

2018年11月:福山市産業廃棄物適正処理講習会の受講

- ①廃棄物処理法の概要及び排出事業者責任の徹底
- ②公共関与処分場における産業廃棄物の受入れ
- ③マニフェスト交付状況の報告

## 8.推進メンバー定期ミーティング

数ヶ月毎にEA21推進メンバーミーティングを実施

各部門での進捗状況報告と互いの意見交換を行う場として活用。

## 6. 評価、次年度の取組内容

### 電力使用量(本社・オフ輪)

#### ■評価

生産量比にて本社17%DOWN、オフ輪0.7%DOWN、本社に関しては2018年7月にプリプレスの刷版工程にて有処理版→無処理版へ移行した事で自動現像装置の撤去に伴い廃液削減装置と再生水再利用装置の3台分が無くなり、特に自動現像装置での負荷軽減が大きく貢献出来ていると思われます。オフ輪工場に関しては生産量が大幅に15.8%UPしたが電気使用量はDOWNした為、輪転機入替、空調機(1台)動力を電気→ガスへの設備更新、コンプレッサー(1台)インバータ制御 設備更新した事が大きく省エネ効果を生んだと思われます。

・プレートtoプレート(アルミ版リサイクル)

2018年4月~2019年3月迄のリサイクルによる温室効果ガス(CO2)削減量

79t分、ガソリン(ℓ 10km)にて算出すると地球を約8.5周分に値します(地球 1 周4万km)

(ガソリン=二酸化炭素排出量2.322kg-CO2/L)

#### 次年度の取組内容

夏時期対策に向けてオフ輪オペレータ用に空調服の導入を検討中、導入する事により身体と空調設定温度管理への負荷軽減を図れる見込み有。

夏時期でのデマンド管理にて新台入替えでの省エネ化した管理状況下で上限値減少を図り年間契約電力金額の削減に繋げていきたい。

### トラブル率(オフ輪)

#### ■評価

トラブル率は前期より0.7%UPして目標未達だったが、生産量の増産率から比較すると抑えてくれていると感じる。ただ輪転機新台へ安定させる上での課題もある為、目標をクリア出来るよう改善を求めています。

#### 次年度の取組内容

輪転機新台への操作の慣れと機械トラブルでの対応、対策での取組みにより、トラブル率の減少を図っていきます。

### 稼働率(オフ輪)

#### ■評価

稼働率71%と目標達成。前期より5%もUPしてくれて輪転機入替えにて約2ヶ月間、2台から1台稼働の体制になったが何とか無駄なく1台で進めてくれた事が数値と表れている。輪転機新台でのトラブル減少での課題はあるが一つ一つクリア出来るよう進めていきます。

#### 次年度の取組内容

輪転機新台への更なる安定化に向けて資材選定中で今までと違うメーカーになった事でこれを機に機械との癖、相性を見極めて試行錯誤していきながらの改善により稼働率UPを図ります。

## 水使用量(本社・オフ輪)

### ■評価

生産量比率にて本社で14%DOWN、オフ輪工場では15%DOWNと大幅に減少してくれました。本社は2018年7月にプリプレスにて無処理版への移行に伴い自動現装置、廃液削減装置、再生水再利用装置の撤去にて水の使用が無くなった事が大きく、オフ輪では輪転機入替えにて約2ヶ月間、1台のみでの稼働にてその分の水使用量が削減したと思われま

### 次年度の取組内容

引続いての節水啓蒙と測定は出来ないのですが印刷機で使用する湿し水量を絞る事への改善を行う事で水使用量の減少と共にインキ量の減少にもなりますので積極的に取り組んでいきます。

## 廃棄物削減(オフ輪)

### ■評価

51期:紙管廃棄物量:約34,047kg→紙管:約20,170kg・金具:約1,775kg・白紙:約12,102kg分へとリサイクル化してくれました。

51期:合間の時間を利用してのパレット修理にてリサイクル出来た枚数は1,025枚で、金額換算(1枚2,000円)2,050,000円分の中古購入金額分を稼いでくれました。

### 次年度の取組内容

紙管リサイクル化とパレット修理ではオフ輪オペレータには負担を掛けていますが、廃棄物への処分金額とパレット購入金額面においても貢献してくれていますので引き続き行っていきます。

## 生産部(オフ輪):生産管理対目ヤレ紙達成率

### ■評価

オフ輪ヤレ紙達成率54.3%→47.1%にて7.2%DOWNしたが輪転機入替えでの新台(小森:35S)に対するオペレータ不慣れ作業での影響が大きいと思われま

### 次年度の取組内容

オペレータの慣れと同時に安定、効率化への作業手順、判断基準への改善、意識付けを行い、ヤレ紙の目標達成率を向上させていきます。

## ペケ版率(本社・オフ輪)

### ■評価

プリプレスでのペケ版は25枚で目標未達ではあるが前年比にて12枚減少してくれました。無処理版への移行が完了した為、今後は現像工程が無くなった事での不良リスクが軽減しますので更なるペケ版減少を期待しています。オフ輪ではペケ版26枚で目標未達、輪転機新台での刷版取付にて不慣れな所もありペケ版が増加しているが今後は慣れの部分では減少傾向にあります。

### 次年度の取組内容

有処理→無処理版への移行にて始めは不具合が発生していましたが、その都度、対策を講じてくれていますので減少傾向にあります。引き続き対策を遵守させながら減少を図っていきます。

## 太陽光発電

太陽光発電(設置:2012年9月):売電電力量50期(2018年5月~2019年4月) 合計59,538kwh

## 7. 今後の目標

取組区分		5 2 期	5 3 期	5 4 期	
		2019年5月 } 2020年4月	2020年5月 } 2021年4月	2021年5月 } 2022年4月	
—	生産量	UP	UP	UP	
二酸化炭素排出量	全社:二酸化炭素排出量	DOWN	DOWN	DOWN	
	本社:電力使用量	DOWN	DOWN	DOWN	
	オフ輪工場:電力使用量	DOWN	DOWN	DOWN	
	生産部(オフ輪):トラブル率	DOWN	DOWN	DOWN	
	生産部(オフ輪):稼働率	UP	UP	UP	
総排水量	本社:水使用量	DOWN	DOWN	DOWN	
	オフ輪工場:水使用量	DOWN	DOWN	DOWN	
廃棄物排出量	生産部(オフ輪)生管対目ヤレ紙達成率	UP	UP	UP	
	ベケ版率	プリプレス	0枚	0枚	0枚
		オフ輪	0枚	0枚	0枚
		他部署	0枚	0枚	0枚

※目標＝前年生産量比率基準でのUP・DOWN(二酸化炭素排出量・電力使用量・水使用量)

## 8. 環境関連法規制遵守状況

主な環境関連法規等、下水道法・騒音規制法・振動規制法・浄化槽法・廃棄物処理法・消防法・特定家庭用機器再商品化法・フロン排出抑制法・大気汚染防止法・P R T R 法・水質汚濁防止法・瀬戸内海環境保全特別措置法・ポリ塩化ビフェニル(P C B) 特別措置法

日印産連:グリーン基準ガイドライン・法令等の遵守状況を環境関連法規一覧表に基づき確認しましたが、違反状況は無く、近隣住民からの苦情及び関係当局より違反の指摘は過去3年間ありませんでした。

## 9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

### ■ 環境活動の取組結果の全体評価(社長:小田芳正)

システムの有効性、取り組みの適切性は有ると判断しております。  
環境方針及び環境目標変更の必要性は有りません。

責任者の浜田を中心によく管理、運用してくれています。

エコアクションを推進する事で、どんな事が得られるのかやった人が評価される仕組みを再度作り直す必要があると思っています。

エコアクションをやって良かった。

もっと出来る事がないかと積極的になれば更に良いと考えます。



エコアクション21  
認証・登録番号 0006547

■本レポートについてのお問い合わせ先

**福山エビス印刷株式会社**

〒720-0821 広島県福山市東川口町1-5-5  
TEL.084-954-2200 FAX.084-954-2643

<http://www.ebisuinsatsu.co.jp/> [ebisu@ebisuinsatsu.co.jp](mailto:ebisu@ebisuinsatsu.co.jp)